



2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ
RCは分かちあいの心
2007～2008年度
ウィルフレッド J. ウィルキンソン

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：岩本 成郎
幹事：西本 哲
クラブ広報委員：亀井 直人
例会日：毎週木曜日PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1337回例会

2007年10月2日(火) 晴 第13回

～職業奉仕月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」
名古屋マリオットアソシアホテル
16F「アゼリア」

司会：名南RC 伊藤博昭会場運営委員長
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲスト：国際ロータリー第2760地区 ガバナー 江崎柳節さん
国際ロータリー第2760地区 地区幹事 河村嘉男さん

会長挨拶 岩本成郎会長

皆さんこんにちは。名古屋瑞穂ロータリークラブの会長を務めます岩本です。宜しくお願い致します。本日は国際ロータリー第2760地区ガバナー公式訪問、誠に有難うございます。そして公式訪問合同例会に際しまして、ホストを務めて下さいました名古屋名南ロータリークラブの皆さん、有難うございました。重ねて厚く御礼申し上げます。



2007～08年度RIテーマは「ロータリーは分かちあいの心(Rotary Shares)」,地区運営方針としてガバナー江崎柳節氏は「違いを持たらそう(One Difference)」,そして当クラブでは、ロータリアンとして自己の明確化の方針を受け、会長スローガンを「和の心」と致しました。クラブテーマは長期ビジョン委員会により「熱田の杜・友愛・気品」とし、明るく楽しい活力あるクラブ運営に務め、会員増強を必須科目とし、中でもクラブ奉仕委員会は高須委員長の方針のもと、月1回、年12回の開催をし、クラブ活性化に務めている次第です。

本日は時間の都合もありますので、簡単ではございますがこれを持ちまして報告ならびに挨拶と致します。有難うございました。

名南RC会長挨拶 名南RC 大隅紀郎会長

ただ今ご紹介に預かりました、名南RC会長の皆様です。今日はガバナー及び幹事をお迎えして、良い天気の中多数の会員の方にご参加いただき感謝いたします。当クラブは「いつも明るく楽しいクラブ」をモットーにしております。



昨日まで当クラブのメインの奉仕活動としてタイのチェンマイ県に行ってきました。場所はドンジャン寺院というお寺でした。そこのお坊様がタイ北部の孤児をその寺院で保護及び教育をされておりました。総勢500数十名で非常に大きな規模でした。当クラブとしてこちらへ浄水器を設置することに決めてきました。これから皆様のご審議を頂くこととなりますが、予算は130万円ほどです。これが宣伝効果になって当クラブに優秀なメンバーが増えましたら、また皆さんと協力して仲良くしていきたいと思っております。

出席報告 加納 裕出席委員長

会員72名 出席41名 (出席計算人数50名)
出席率74.0% 9月20日は補填により 94%

幹事報告 西本 哲幹事

・明後日10月4日(木)は本日の振替により休会です。
・次週10月11日(木)は例会後第4回理事会及び第3回クラブアッセンブリーです。出席義務者はよろしくお願い致します。

臨時例会変更のお知らせ

名古屋南		10/24(水)※		
名古屋北	10/19(金)			
名古屋守山	10/17(水)	10/24(水)※		
名古屋みなと		10/26(金)		
名古屋東南		10/24(水)※		
名古屋中	10/15(月)			
名古屋名東	10/16(火)※	10/23(火)		11/6(火)
名古屋名北	10/17(水)			
名古屋千種	10/16(火)		10/30(火)	11/6(火)※
名古屋大須		10/25(木)		
名古屋栄	10/15(月)◆			
名古屋名南	10/16(火)※		10/30(火)◇	
名古屋名駅		10/24(水)※		
名古屋昭和			10/29(月)	
名古屋西南	10/18(木)			
名古屋東山	10/18(木)			11/8(木)
名古屋空港			10/29(月)	
名古屋清須	10/16(火)	10/23(火)※	10/30(火)※	
あま		10/22(月)		
尾張中央	10/17(水)※	10/24(水)※		
名古屋城北	10/16(火)※		10/30(火)※	

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◆はサイン受付時間が17:00～18:00となります。
◇はサイン受付が17:30～18:30となります。

ニコボックス

・7月の誕生日です。
岩崎 道夫さん
・ガバナーをお迎えして 岩本 成郎さん 田中 政雄さん
高須 洋志さん 近藤 雄亮さん
長坂 邦雄さん 西本 哲さん
稲垣 豊さん 増田 盛英さん

会長・幹事会

例会前11時より江崎ガバナー及び河村地区幹事をお招きして、会長・幹事会が開催され、大変有意義なご指導を賜りました。(当クラブ出席者・岩本会長、西本幹事)



卓話 2007～08年度 第2760地区ガバナー 江崎柳節さん

「ガバナー卓話」



皆様こんにちは。今日は名古屋瑞穂RCと名古屋名南RCの非常に優れた2つのクラブに10時半からおじゃまして頂きました。本日も100万ドルの食事にご協力いただきましてありがとうございました。ご迷惑をおかけしましたが、少しでも差益が出た時にはロータリー財団と米山の方にご寄与いただけると有り難いです。

今日は10時半から名古屋名南ロータリークラブの大隅会長と杉山幹事、それから名古屋瑞穂ロータリークラブの岩本会長と西本幹事とゆっくり歓談をさせていただきました。この両クラブは叔父と甥という形になると思いますが、非常に仲むつまじい見事なクラブだと思います。地区に大変優れた委員の方をたくさん排出していただきまして、地区の運営がどれだけ活性化し助かっているかわかりません。これは両クラブの力の示す成果だと思っております。大変ありがとうございます。瑞穂RCはクラブにかなりの工夫をしておられます。高須クラブ奉仕委員長さんが先頭に立たれ、クラブ管理運営の面で統括しておられます。増強委員長とロータリー情報が理事に入っておられます。これは見事なことです。先ほどもCLPについてお話させていただきました。クラブを活性化する、現在の機能が十分働いているかどうかチェックをするのに最も良い手法です。楽しみながらあの5つの要項を見直してみると、充実したと思われるクラブでも欠点が出てきます。クラブが活性化しなくて潰れてしまったクラブを世界中から集め、その原因をRIが長年かけて検討した結果のものから、あの5つのチェックポイントは皆様方にも是非毎年適応して検討していただきたいです。私は毎月「ガバナーズレター」というのを出しています。10月号は「CLPを解剖する」ということを書きました。ぜひお目通しを頂きたいです。瑞穂RCは奉仕プロジェクトでもかなり充実しており、ローターアクトクラブをささえておられますし、社会奉仕でも環境保全に意欲的ですし、WCLではウガンダに小学校を作ったり、水のことで真のニーズを探っておられます。ロータリー財団の寄与率もこの地区の平均です。ロータリー財団にも魅力的なプログラムがございます。良いプロジェクトにはRI財団から補助金がございます。是非ご活用ください。GSEという、若い実業家を外国に1ヶ月派遣して研修していただくプログラムがロータリーの中では人気があります。今年はフランスと交換で派遣する予定です。こういうものにも目を向けて頂き、この地区や皆様方の職場からそういう人を出してください。今年はクラブを超えた指導者の育成に大いに力を入れています。瑞穂RCからは遠山新世代副委員長様を初め天野さん稲葉さん高須さん増田さんと優れた方に私どもは助けていただいております。名南RCからも大隅会長、杉山幹事さんともよく懇談をさせていただきました。両クラブの会長さんはRI会長テーマと地区の実行方針をよくご理解いただいております。ロータリーはITの格差があります。

今CLPの中でクラブ運営管理の機能が少しばやけています。クラブ運営の中で特に増強に力を入れていただき、今のところ全国で会員が日本一になりました。このまま続けていきたいです。日本中のクラブに運営管理の中で研修機能がはっきりしないという事があり、これは一つの問題ではないかと思えます。ロータリー情報委員会というのは新人に向けて提供することが今の仕事になっていますが、3年5年10年たった方たちの中にロータリーの神髄をわからないままに退会してしまうという現状があります。入った方にロータリーの理念や新しい情報を提供して意識を高揚していただきたいです。名南RCの増強委員には菊岡委員長、社会奉仕委員には小島さん、環境保全委員には三浦さん、米山には小山さんがおられます。今全世界で米山が非常に注目されています。一昨年から国際RI米山奨学会という冠がつかました。両クラブとも益々のご活躍をお願いしたいと思います。

RIの今年のテーマは「ロータリーは分かち合いの心」です。分かち合うのは「愛」です。愛を分かち合うことは親切心を発露することです。ロータリアンは親切心を限りなく発露しましょうということです。分かち合うとは、自分がいらなくなったものを与えることではなく、自らを相手のために捧げようということです。地区では「(One difference) 違いをもたらそう」です。その下に「ロータリアンとして自己の明確化」とあります。今、世の中は奉仕のマインドに溢れています。世界で公的なNPOは約3万あります。その中でロータリーはどのような位置にあるか。私どもは色々ある実業界の中から職業分類で代表の方にお一人ずつと、専門職業人という分野から代表の方にお一人ずつ来ていただいています。そういう立派な方々が週1回集まり、奉仕の理念を学ぼうとしている集団です。それが肅々と長年にわたって行われています。世の中の定義としては社会文化史上この奇跡的な集団はまたと発生しないだろうと定義づけられています。

RIとしては、世界中の120万のロータリアンから出していたお金、600万円で10年間に約20億人の子供たちにポリオの免疫を与えることができました。約700万人は健全な子供として育てており、そのうち200万人は合併症にかかり命を落とすものだったことを考えると、200万人の命を救ったこととなります。今、ポリオの他にも壮大なプロジェクトが行われています。この地球上で字が読めない人に字が読めるようにしてあげようと、ロータリーが開発したCLEという方法があります。世界中にロータリアンが字を教えに行っています。その人たちの生活がどれほど変わってきたかの報告も着々とされています。2050年には100億を超える人口になるであろうとされています。今地球上には63億の人が住んでいますが、80億がギリギリでそれ以上地球には住めないですから多産の国に教え、子孫には文字が読めることの有意義性を教え、経済的にも自立させるように進んでいます。日本やアメリカが政府の資金でそういった国につき込むよりも、ロータリーのCLEを進めた方がその国々、地域の人たちの幸せのためには素晴らしいもっと大きな効果があるだろうとされています。ロータリーは平和に向かって進んでいます。ポリオプラスのプロジェクトは終息宣言を出してもいいくらいまでできています。次にどこに向かうかという、平和に向かっての努力です。最近では「ロータリー世界平和ゼロー」という奨学金制度を作りました。世界の優れた6つの大学の中に平和と世界紛争を解説するための学部を日本では国際キリスト教大学にロータリーが作りました。

ご静聴ありがとうございました。

今週卓話

10月11日(木)

卓話講師：2007～2008年度RI第2760地区地区職業奉仕委員
小島清路さん

テ — マ：「ロータリーにおける職業奉仕について
～職業奉仕の意味、ロータリーの中での位置づけ及び他奉仕団体との比較等～」

次週行事

10月18日(木)

職場例会

場 所：天然温泉 丸屋「玉ノ湯」

※例会・食事は「懐仙」にて12時より行います